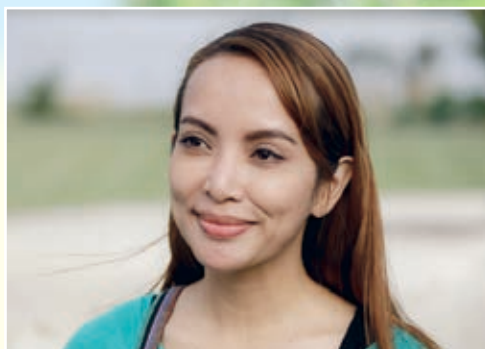


サラーマット

～あなたの言葉で～



兵庫県マスコット はばタン

兵庫県・公益財団法人 兵庫県人権啓発協会

は じ め に

兵庫県は昨年、県政 150 周年を迎えました。この節目にあたり、兵庫の未来を確かなものとし、進むべき道を県民と広く共有するため、2030 年のめざす姿や新たな兵庫づくりの基本方針等を内容とする「兵庫 2030 年の展望」を策定しました。めざすは「すこやか兵庫」。物だけでなく心も豊かな生活の実現、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域の構築など、すべてがバランスした兵庫の実現をめざします。

そのためには、「共生の心」を培う人権意識の高揚を図り、県民一人ひとりが、相手の気持ちや立場を理解し思いやる感性を磨いていくことが大切です。そこで、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着している社会をめざす「人権文化を進める県民運動」を展開し、人権尊重の視点に立ったさまざまな施策に取り組んでいます。

本年度のビデオ作品『サラーマット～あなたの言葉で～』のテーマは、「SNS 時代における外国人の人権」です。

近年、訪日外国人は年々増加し平成 30 年には 3100 万人を超え、過去最高を記録しました。今後も訪日客の増加が予想されています。平成 31 年 4 月には、外国人材の受け入れ拡大を目的とした「改正出入国管理法」が施行されました。国は 5 年間で最大 34 万人の労働者の受け入れを想定しており、地域で暮らす外国人も数年のうちに増加することが予想されています。これまでも外国人の受け入れには、施設等の多言語化への対応の遅れ、地域での問題の発生など様々な課題が現れています。

国では「改正出入国管理法」施行に伴い、在留資格「特定技能 1 号」「特定技能 2 号」を新設し、これまでの在留資格の枠に留まらない多くの外国人の受け入れを実施することに決めました。その一方で、日本に住む外国人の中には、文化、言語、習慣等の違いから日本での生活に不便さや不安を感じながら生活している方々もいます。

また近年、スマートフォン等情報機器の普及に伴い、人と人との交流が容易になると共に生活スタイルが一変され便利になった反面、SNS の急速な広まりや依存による新たな問題も発生しており、情報モラルなどを身に付けていく必要があります。

これらの問題を絡めたこの作品が、ご覧になった方々にとって、地域で暮らす外国人と日頃からコミュニケーションを図り、互いを認め、違いを尊重し合えるようなコミュニティを形成し、より良い地域の未来を創っていくために必要なことは何かについて考える機会になることを願っています。

令和元年 12 月

兵庫県・公益財団法人 兵庫県人権啓発協会

目 次

はじめに

I 制作のねらい |

II 登場人物 |

III 主な場面とセリフ・学習で扱うポイント 2

IV 学習会を開催するにあたって

I 学習会全体の流れ 8

2 学習展開例 9

3 ワークシート 10

4 解説「SNS 時代における外国人の人権について」 12

(1) 国や県の動向

(2) 外国人等の状況

(3) インターネット（SNS 含む）の状況

(4) 外国人に関する相談機関について

活用ガイドについて

本書は、人権啓発担当者等が人権啓発ビデオ「サラーマット～あなたの言葉で～」を用いて人権啓発研修を企画・運営し、効果的に進めるための手引きとして作成したものです。

様々な場面で活用され、充実した研修になることを願っています。

I 制作のねらい

作品のテーマは、「SNS 時代における外国人の人権」です。

訪日外国人の増加や、改正出入国管理法の施行など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域で共に生きる時代になっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から、外国人が増えることに抵抗を感じている人も少なくありません。

また、スマートフォンの急速な普及によって、SNS 内でのいじめなどが深刻化し、社会問題になっています。一人ひとりが SNS を利用する際のマナーや配慮について考えていく必要があります。

この作品の主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」と捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、そして、SNS を傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。

「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマを制作します。

II 登場人物



かしもと たまみ
榎本 珠美 (42)
〈真飛 聖〉
介護福祉士。訪問介護事業所のサービス提供責任者



ミランダ・ロペス (28)
〈JL〉
介護福祉士。フィリピン人。5年前に来日。



かしもと たくや
榎本 拓也 (45)
〈金子 昇〉
珠美の夫。ワーキングホリデーでカナダで一年間働いた経験あり。



かしもと こはる
榎本 小春 (11)
〈成石 亜里沙〉
珠美の長女。小学校5年生。SNSを利用している。



せんだ れいこ
仙田 令子 (80)
〈草村 礼子〉
ミランダが担当する利用者。独り暮らし。足のケガで要介護に。



チェン シンイー
陳 欣依 chenxinyi (11)
〈徐 東美〉
小春の級友。中国人。両親とともに2年前に来日。



かわむら かずお
川村 和夫 (71)
〈児玉 頼信〉
ミランダの住むアパートの大家で町内会長。



せんだ もとき
仙田 元喜 (54)
〈宮川 浩明〉
令子の息子。大阪で家庭を持っている。



やすえ たけのり
安江 武則 (47)
〈岡田 謙〉
珠美の上司。事業所長。



せんだ けいじ
仙田 啓二 (79)
〈岡 太郎〉
令子の夫(故人)。三年前に病死。

Ⅲ 主な場面とセリフ・学習で扱うポイント

S1 川べり

小春 「お母さん」
 珠美 「あ、小春。おかえり。こんにちは」
 欣依 「こんにちは」
 小春 「お母さん…」
 珠美 「あ、ちょっと待ってね…所長からだ。え、新人さん、もう来てるの！ごめん。急いで戻んなきゃ。ごめんね、じゃあね！」
 小春 「いっつも忙しそうにしてるんだ…」
 欣依 「お仕事？」
 小春 「うん。訪問介護の仕事。お年寄りや身体の不自由な人のお手伝いをしてるんだ」



S2 介護事業所

安江 「榎本さん」
 珠美 「あ、所長、戻りました」
 ミランダ 「はじめまして。私はミランダ・ロペスです。今日からお世話になります」
 珠美 「あ…榎本珠美です」
 安江 「榎本さん。ロペスさんは日本語ペラペラだから。出身はフィリピンの、マニラだったけ？」
 ミランダ 「はい。所長さん。ミランダと呼んでください」
 安江 「じゃ、ミランダさん。榎本さんはこのサービス提供責任者だから。何でも相談して」
 ミランダ 「はい！よろしくお願いします」
 珠美 「ああ！」
 ミランダ 「…よろしくお願いします」



S3 同・別の一角

珠美 「①訪問介護は利用者さんと一対一になるんですよ！外国人なんて…」
 安江 「仕方ないだろ。人手が足りないんだから。ミランダさんには仙田令子さんを担当してもらおうよ」
 珠美 「所長。仙田さんは気難しくて、1か月の間に2人も担当を変えるような人ですよ」
 安江 「だから、ダメモトで。榎本さん、最初だけミランダさんについて行ってやってよ。よろしく！」

壁には、介護理念が貼られている。

『一人ひとりの暮らしを大切に』

S4 榎本家・ダイニングキッチン（夜）

拓也 「ごはんだよ？」
 珠美 「何か問題が起きたらどうするのよ。面倒見るのは私よ」
 拓也 「外国人だからダメだって決めつけない方がいいよ」
 珠美 「②だけど、国が違えば、文化とか習慣の違いとか、いろんな壁があるでしょ」
 拓也 「違いは、あるよ。でも、違いは壁じゃないから」
 珠美 「じゃ何？」
 拓也 「だから、違いは…」
 拓也 「小春、食事中にスマホは見ない」
 小春 「あ、藍里ちゃんだ、写真アップした。ケーキだ。あんまりおいしそうじゃないけど」



『イイネ』を押し、『おいしそう〜』コメントをする小春。

珠美 「そう。人を傷つけるような言葉をSNSに書きこんじゃだめよ」
 拓也 「ねえそれさ、今しなきゃいけないこと？」
 小春 「私だけスルーしたら仲間はずれにされる。私がスルーされちゃう」
 拓也 「イヤイヤイヤ。すぐに反応しないくらいで、仲間はずれにする方がおかしいよ。なあ」
 珠美 「ごめん。小春のクラスのママ友グループ」
 * 『来月8日の保護者会、参加できますよね』
 珠美 「保護者会か。シフトどうなったかな」
 拓也 「お母さんまで」

S5 介護事務所

安江 「サラマッポ、サラマッポ、サラマッポ？フィリピン語。ミランダさん今日からだよね？」
 珠美 「…ええ」
 安江 「いよいよか」



S6 仙田家・居間

ミランダ 「私は、ミランダ・ロペスです。どうぞよろしくお願いします」
 珠美 「あ、あの、彼女は日本の専門学校を卒業して介護福祉士の資格を持っています。系列の介護施設で2年間経験も積んでいますので…」
 コマの声 「オハヨ〜、δ § Δ Φ（判読不明）ダヨ」
 ミランダ 「インコ！ 話してる。カワイイ〜」

珠美 「ちょっと」
 コマ 「カワイイ、コマちゃん、カワイイ」
 ミランダ 「コマちゃん？
 この子はコマ
 ちゃんですか？」
 令子 「声、大きい」
 珠美 「申し訳ありま
 せん」



S7 同・別室

元喜 「榎本さん。③これはないですよ。出稼
 ぎに來ているような人に、母を任せる
 なんて」
 珠美 「あの、ですが、彼女は資格もちゃんと…」
 元喜 「心配なんですよ！ 離れて暮らしてる
 し。父を亡くしてから母はどんどん無
 口になってるし」
 珠美 「お気持ちはわかりますが、しばらく様
 子を見ていただけませんか？」
 元喜 「あなたもサポートしていただけるん
 ですよね」
 珠美 「もちろんです」

S8 同・居間

ミランダ 「私は ミ・ラ・
 ン・ダ」
 コマ 「オカーサン。オ
 カーサン」
 ミランダ 「オカーサン!？」



S9 介護事業所

珠美 「インコのことなんて書かなくていいのに」
 ミランダが鼻歌を歌いながら部屋に入ってくる。
 珠美 「ミランダさん。仕事中に鼻歌は歌わない」
 ミランダ 「フィリピン人、歌が好きですね。ダン
 スも」
 珠美 「日本ではダメ！それから、ペットの世
 話はサービスの範囲外だから」
 ミランダ 「コマちゃんの世話は令子さんがします」
 珠美 「その令子さんて呼び方。馴れ馴れしく
 ない？」
 ミランダ 「ダメですか？ダメ多いね、珠美さん」
 珠美 「ここは日本なの。フィリピンとは違う
 の！」
 ミランダ 「はい」

S10 仙田家台所（数日後）

時計で時間（11時28分）を確認しつつ、
 ミランダ 「令子さん。おでん、できました～」
 冷蔵庫の前の令子。生姜を出して

令子 「うちのおでんには、これがないと」
 ミランダ 「OK！」



S11 介護事業所

ミランダ 「ただいま～」
 珠美 「ねえ遅かったじゃない」
 ミランダ 「令子さんに、姫路おでん、教えてもら
 いました。姫路おでんは令子さんのふ
 るさとの料理。生姜醤油をつけます」
 珠美 「まさか一緒に食べてないでしょうね」
 ミランダ 「作っただけ。私も食べたいね。美味し
 いお店、令子さんが教えてくれました」
 珠美 「…で、何時までお家にいたの？」
 ミランダ 「…12時5分」
 珠美 「30分以上オーバーしてるじゃない！」
 ミランダ 「私のお昼休み、ちょっと使いました」
 珠美 「ダメ！」
 ミランダ 「どうして、ダメ？」
 珠美 「時間内に決められたサービスをきっち
 り終わらせる。それが大事。おしゃべ
 りしてる暇なんかないの」
 ミランダ 「おしゃべり、ダメ？ どうして？ お
 しゃべりは大事。そのために日本語勉
 強しました」
 珠美 「話しちゃだめとは言っていない。口より
 も手を動かす
 のが私たちの
 仕事」
 ミランダ 「じゃ、私は口
 も手も一緒に
 動かします」



S12 榎本家・ダイニングキッチン（日曜日）

拓也 「ねえ、休みなのに何イライラしてんの」
 珠美 「もうさ、例のフィリピンの子が、イチ
 イチさ『どうして』『どうして』って聞
 いてくるの」
 拓也 「ミランダさん、だっけ？」
 珠美 「所長は頼りになんないし、はぁ、もう
 ダメかも」
 珠美のスマホにママ友から着信。すぐに確認する珠美。
 ＊『中国人の女の子が転校してきたの知ってる？陳さんって子』
 珠美 「小春のクラスに中国人の女の子が転校
 してきたんだって」
 拓也 「へえ。なんか増えてるみたいだね、外
 国籍の子」

続々とコメントが増えていく。

- *『この間、その子のお母さんを見かけた。
挨拶したけど無視（涙）』
- *『保護者会にも来なかったよね』
- *『日本人が嫌いなのかも』
- *『^④ここだけの話、私、外国人苦手。これ以上、増えて欲しくない』

珠美も思わず同調して

珠美のコメント『そうね。外国人って面倒くさい』と、打ち込み、送信する寸前。

小春 「ただいま」

拓也 「おかえり」

珠美 「危なっ。ダメダメ、こんなこと書いちゃ」

拓也 「？」

珠美 「もしもし」

ミランダの声 「珠美さん、助けて！私は困ってる。大家さんが怒ってる。何にも悪いことしてないのに。ひどいよ。助けてください。どうしていいかわからない。私、私」

珠美 「どうしたの？」



S13 ミランダのアパート付近

ミランダ 「大家さんに、『出ていってもらおう』と言われました。私がゴミ出しのルール、守らないって。私、悪いことしてない。出ていきたくない」

珠美 「わかった。私が大家さんと話してみる」

S14 川村家・前

川村 「昨日、生ゴミが捨ててあったんだよ。回収日じゃないのに。で、生ごみの中にこれが」



川村 「フィリピンビール」

珠美 「それで、彼女だと？」

川村 「『きっとフィリピン人だ』って言う人がいたんだよ。私は『あんたが捨てたのか』って確認しただけだ」

珠美 「でも、『出て行ってもらおう』って」

川村 「そうは言ってない。『ルールを守れない時は、出ていってもらふことになる』って言ったんだ」

珠美 「ああ…」

川村 「私だってそんなこと言いたかないよ。」

でも、町内会長だから。住民の中には外国人を良く思わない人もいる。部屋を貸すなどという人もいるんだ。そんなこと言わせないためにも、日本のルールを守ってくれないと」

珠美 「…分ります。あ、でも彼女に限っては！」

ミランダ 「大家さん。これ、見てください。日本のゴミの出し方、難しい。だから、いつも確認してる。ルール守ってる」

珠美 「私たちは訪問介護員です。利用者様のお宅のゴミ出しをするのも仕事のひとつなんです」

ミランダ 「私、悪いことするために日本に来たんじゃない。介護の仕事をするために来ました」



川村 「悪かった。あんたを疑うようなことを言って」

S15 榎本家・居間（日暮れ時）

珠美 「…疲れた」

拓也 「スーパーに売ってた。誰でも買えるんだよ。偏見だよな」

珠美 「うん。私も彼女じゃないと思う」

拓也 「ルール違反をする外国人もいるけど、それは、日本のルールを知らないからってことが多いんだよ。ちゃんと教える人がいればいいんだよ」

珠美 「その、『ちゃんと教える』が難しいのよね」

拓也 「それは日本人同士だって同じだよ。だってうちの若手なんか、日本語通じるけど、話通じないもん」

珠美 「違うと思ったら『どうして？』って聞いてくるミランダの方が、わかろうとしてくれるのかな」

拓也 「日本で生きていこうと思っているから、聞くんじゃないか？」



S16 川べり（夜）

ミランダが歌を口ずさみながら歩いている。

溢れてくる涙を止めるように、空を見上げる。

ミランダ 「ママ…」

S17 介護事業所

ミランダが撮影した動画。

コマ 『オカーさん。オカーさん、ゴハン、オイシ』
安江 「これ、ミランダが撮影したの？」
珠美 「はい。コマちゃんに夢中みたいです」
珠美 「仙田さん！ 笑ってる」
安江 「ほんとだ。そーいやもう一か月だよ。ミランダが担当になって」
珠美 「はい。…続いていますね」
珠美 「ミランダ。この動画。仙田さん、笑ってるよね」
ミランダ 「はい。令子さん、よく笑う。おしゃべりも好き」
珠美 「私が話しかけても何にも答えてくれないのに」
ミランダ 「令子さん。耳が良く聞こえない。でも、息子さんに心配かけたくない。だから、聞こえる、ふり？」
安江 「そうか、だから、他のスタッフとはうまくコミュニケーションがとれなかったんだ」
珠美 「ミランダはどうやって仙田さんと話したの？」
ミランダ 「私の声は大きい。だから令子さん、聞こえる」
珠美 「あ…！」
(回想) 令子 「声、大きい」
珠美 「クレームじゃなかったんだ」
安江 「樫本さん。ミランダ、いい戦力になってくれましたね」
珠美 「ええ」



S18 仙田家・居間 (翌日)

コマ 『オカーサン。ゴハン、キタ』
令子 「コマちゃん。そろそろミランダが来る頃ね」
時計を見る令子。10時25分。
令子 「今日はフィリピン料理を作ってくれるんだって」
見ると、コマが令子から離れ、隣室へ。隣室の窓が開いている。
令子 「コマちゃん！」

S19 駐輪場

珠美 「もしもし」
ミランダの声 「珠美さん。(混乱してフィリピン語)」
珠美 「ミランダ!？」
ミランダの声 「令子さんが… (また、フィリピン語)」

珠美 「ミランダ、令子さんがどうしたの？ 落ち着いて」

ミランダ 「令子さん、頭を打った。血が出てる」
珠美 「ミランダ、救急車よ。119! わかる？」

S20 救急病院・病室

ミランダ 「令子さん、もう痛くない？」
元喜 「母さん！ 大丈夫か!？」
令子 「・・・」
元喜 「何でこんなことになったんですか!」
ミランダ 「…私が、遅れたから」
元喜 「遅刻!? だから、外国人はイヤだったんだよ」
珠美 「申し訳ありません! 本当にすみません」
ミランダ 「・・・」



S21 同・廊下

珠美 「遅刻ってどういうこと？」
ミランダ 「遅刻はしてない。いつも10分前に行くけど、今日は五分前。スーパーに寄ってた」
珠美 「だったらちゃんと説明しなきゃ。責任を問われるかもしれないのよ」
ミランダ 「コマちゃん、逃げた。探さないと」
珠美 「何、言ってんの。まずは、帰って事故報告書を書きなきゃ」
ミランダ 「コマちゃんが大事!」
珠美 「軽傷で済んだけど救急車も呼んだのよ」
ミランダ 「コマちゃんが先!」
珠美 「ミランダ! もう、何なのよ…もう」

S22 樫本家・居間 (夜)

珠美 「出ないの…」
小春 「コマちゃん、いなくなっちゃったの？」
拓也 「ミランダさん。まだ、探してるんじゃないか」
珠美 「彼女の責任じゃないのよ」
拓也 「ミランダさん、何でそこまでするんだろう」
珠美 「ミランダ!」
ミランダの声 「珠美さん」
珠美 「ね、今どこにいるの? 心配したのよ」
ミランダの声 「どうしよう。コマちゃん、見つからない」
ミランダ 「コマちゃんは、令子さんの家族。とても大事。コマちゃんがいなくなったら、



令子さん、悲しい。…私も、悲しい。
令子さんの大事なもの。私も大事にしたい。令子さんの…令子さんの…」

珠美 「絶対見つけよう！」「私も探す！大丈夫よ、ミランダ！」

珠美 「お願い。」

拓也 「そうこなくっちゃ。まずは何する？」

S23 同・ダイニングキッチン～居間

珠美 「ただいま」

拓也 「おかえり」

珠美 「連れてきたよ」

拓也・小春 「いらっしゃい」

珠美 「ミランダ。見て」



PC画面にコマちゃんを探すための動画

ミランダ 「コマちゃん！」

珠美 「これをSNSで流すの。きっと注目してもらえる」

小春 「私の友達にも探してもらおう」

拓也 「こういう時に便利なツールだよな」

珠美 「で、ほら、これも配る」

ミランダ 「わ、すごい。でも日本語だけ？」

珠美 「そうか！ 外国人もいるよね。だけど、英語とフィリピノ語はともかく…」

小春 「中国語は欣依に頼もう！」

珠美 「シンイ？」

小春 「この間、道で会ったでしょ。チェン・シンイー。中国から来た転校生」

珠美 「あの子が転校生！ 日本語話せるの？」

小春 「うん。私ね、欣依に中国語を教えてもらってるの」

珠美 「小春が中国語を？ どうして？」

小春 「だって朋友(ばんよう)、友達だから。欣依の国のこともっと知りたいもん」



S24 川村家・前（翌日）

珠美 「これの外国語版も作りたいんです」

川村 「わかった。町内の外国人にも声をかけてみるよ」

珠美 「ありがとうございます！」

S25 榎本家・居間

珠美 「皆さん、ご協力ありがとうございます！」

川村 「彼はね。アメリカのボストンから来たんだって」

珠美 「ほんとに」

川村 「すごいよな。いろんな国の人が、こんな近所に住んでるなんて。万博みたいだね。そうだ。町内会の秋祭りに来ない？」

男性A 「日本のお祭り？ ワオ！」

川村 「じゃ、ついでに来週の防災訓練にも出ない？」

男性A 「盆栽！」

川村 「盆栽？ いやいやボウサイ。えっと…」

珠美 「防災訓練っていうのは、地震や火事が起きた時のためのトレーニング」

川村 「そう！ 万が一の時には助けあわないとね」

拓也 「いいですね。顔を合わせる機会があれば、誤解も減るんじゃないかな。よくわからない相手だから、お互い不安になるんだし」



川村 「調べてみたら、こんなのがあってね。この地域の外国人たちに知らせてあげたいと思ってたんだ」

珠美 「多文化共生総合相談センター…」

川村 「考えてみたら、彼らはこの町の新しい力なんだよね」

欣依 「これで、中国人もいっぱい見るよ」

小春 「好好！（ハオハオ）イイネ！」

珠美 「欣依ちゃん。手伝ってくれてありがとう」

小春 「…ねえ、お母さん。今度、欣依のお母さんをうちに呼んでいい？」

珠美 「お母さん？」

欣依 「私のママは日本語が少ししかわからないの。だから、先生や他のお母さんと話すのが怖いって」



珠美 「そっか」

欣依 「ママ、ずっと家にいるの。寂しそう」

珠美 「OK！ 私が欣依ちゃんのお母さんと朋友になる」

S26 同・一角

珠美 「陳欣依ちゃんが協力してくれました。謝々」

『保護者会、お母さんも来るそうです。楽しみ！』

珠美 「よしっと。これで、流れが変わるかな」

S27 仙田家・近くの道

珠美 「コマちゃん。どこにいるの？ 令子おかあさん、退院するよ。コマちゃん戻って来て～」

珠美 「小春だ」

小春の声 「お母さん！」

S28 仙田家・玄関前（一時間後）

ミランダ 「令子さん。ごめんなさい。みんなでコマちゃんを探してた。だけど…」

元喜 「もうインコのことはいいから。帰ってくれ」

ミランダ 「……」

珠美の声 「ミランダ！」

ミランダ 「コマちゃん！」

令子 「…」

珠美 「あの、中国人の学生さんが、見つけてくれました。ベランダにいたそうです」

コマ 『オカーサン。ゴハン、ゴハン』

その声にハッと我に返る令子。瞳に生気が宿る。

令子 「…おかえり」

(回想) 啓二 「コマちゃん。『お母さん』って言ってごらん、『お母さん』って言ってごらん」

令子 「どう？」

啓二 「駄目だね…お母さん、ご飯にしよう」

コマ 「オカーサン、ゴハン」



S29 同・居間

令子の声 「コマちゃんに言葉を教えたのは、夫なんです。自分がいなくなっても、私が寂しくないようにって思ったんでしょうね」

ミランダ 「優しいお父さん。会えないの寂しいね。でも、お父さん、ずっと令子さんの中にいる」

令子 「ミランダさん。あなたも寂しいのを我慢してるのね。ずっと家族に会えないんだもんね」

コマ 「サラーマット、サラーマット」

令子 「コマちゃん、覚えちゃったのね。この年になって外国の言葉を勉強する気になんて、思ってもみなかった。だけど、私、言いたかったの。あなたの国の言葉で『ありがとう』って」

ミランダ 「！ 」

令子 「サラーマット。ミランダさん。あなたが来てくれるようになって、毎日が楽しかった」

ミランダ 「令子さん。サラーマット。ありがとう」

元喜 「母さん…」

元喜 「ミランダさん。これからも母のことをよろしくお願いします。久しぶりなんです。こんなに母が笑うのを見るの」



S30 川べり

珠美 「ミランダはさ、令子さんのことを本当に大切にしてたんだね。だから、令子さんにも伝わった」

ミランダ 「家を出る時、ママが言いました。『相手の大事なものを大事にしたらきっと仲良くなれる。言葉は通じなくても、心は伝わる』」

珠美 「素敵なお母さんね」

ミランダ 「はい！」

珠美 「ミランダ、ごめんなさい。私、あの…自分のルールばかり押し付けて」

ミランダ 「ルール、大事。私、日本人のきちんとしたところ、尊敬しています。珠美さんのことも」

珠美 「ダメダメばかり言ってるのに？」

ミランダ 「珠美さん、私を助けてくれる。珠美さんといると、私…安心」

珠美 「……」

ミランダ 「でも…時々面倒くさいね」

珠美 「！ 私も面倒くさいのか」

ミランダ 「みんな面倒くさいよ。フィリピン人も日本人も一人ひとり違うから」

珠美 「そうだね。あ、でも違うから…面白い！」

ミランダ 「面白い！」

珠美 「ミランダ… ありがとう。…じゃ、おでんでも食べに行っちゃう？」

ミランダ 「行く！ 姫路おでん」



(終)

Ⅳ 学習会を開催するにあたって

1 学習会全体の流れ

学習会を始める前に、計画や運営の面でどのようなことに注意していくとよいか、基本的な内容についてチェックしてみましょう。

【準備】

- ☐ **学習のねらいが**、はっきりしている。
- ☐ **学習内容**は、学習者が知りたいことである。
- ☐ **実施時期や時間、場所**は、学習者に無理のない設定である。
- ☐ **指導者や講師**は、ねらいや内容の点から適任である。
- ☐ **学習方法**は、講義や討論、ビデオ視聴など学習者や内容に合わせて決めている。
- ☐ **資料や機材等の確認**ができている。
- ☐ **前回の改善点**を生かしている。

効果的な学習会にするための最大のポイントは、ねらいの明確さです。学習内容や指導者（講師）選択は、しっかりとしたねらいに沿って決める必要があります。また、事前に指導者（講師）と打合せを行い、担当者の考えを伝えておきます。話し合いをする場合、身近で、だれもが知りたいと感じているテーマを扱うことで、意見が活発に交換され、充実した気づきの場となります。

【実施】

- ☐ **円滑な進行**をめざして、シナリオ（進行手順）を作成するなど工夫している。
- ☐ **ワークシート**を、学習者が考えを整理するための資料として活用している。
- ☐ **話しやすい雰囲気づくり**を心がけ、プライバシー厳守や他者を批判しないなど**話し合う際のルール**が共有できている。
- ☐ 実施中に学習者の様子を観察するなど、**評価の視点**を取り入れている。
- ☐ **アンケート**に、理解の程度や内容に関する項目、自由記述などを入れている。

学習会を成功させるには、全体の流れがイメージできていることが重要です。受付や挨拶、講演や討論の質疑応答などの時間配分も含めて、計画に沿って進めていきます。話し合いをする場合、学習者同士の関わりによって新たな気づきが生まれるので、学んだ効果を発表し合うなど、振り返りの機会を持つことが大切です。学習者が、「聞く」「見る」「話す」「作る」など、変化のある活動ができるように心がけます。

【実施後】

- ☐ アンケート結果を、**効果があった点と改善点とに分けてまとめ**、報告する。
- ☐ アンケート結果をもとに、**次回の学習会**に向けた計画案を作成する。



〈学習者の視点を大切に〉

◎学習者に新たな気づきがあったか。 ◎学んだことが日常生活につながっているか。

2 学習展開例

60 分の住民学習を想定しています。参加者の人数や使うことのできる時間によって、時間の割り振りや話し合う項目の数を調整し、無理のない学習を行いましょう。ワークシート 1 (P10) は、参加者がグループを作って学習を行う場合、ワークシート 2 (P11) は、個人作業を中心に学習を行う場合に活用できるシートです。参加者の状況に応じて修正を加えながら、より学習に役立つものにしてください。※ 90 分以上の場合は、4 人程度の少人数によるグループワークを適宜取り入れて実施することをお勧めします。

学習のねらいと関連する下線部

1 職場や地域に新たに迎えた外国人との関わりを通して、国籍、人種、言語、習慣、宗教などの異文化に対する理解を進め、共に生きていくことについて考える。

- ・P2「だけど、国が違えば、文化とか習慣の違いとか、いろんな壁があるでしょ」(珠美の発言)のよう、外国人に対して感じる「壁」について具体的に例を挙げてみましょう。 <ワークシート1>
- ・P3「これはないですよ。出稼ぎに来ているような人に、母を任せるなんて」(元喜の発言)について考えてみましょう。 <ワークシート1>
- ・珠美の考え方がP2①からP7⑤のように変化したのはなぜか考えてみましょう。 <ワークシート1>
- ・地域で日本語以外の表記がある場所やものは何でしょう。 <ワークシート2>
- ・文章を外国人にもわかりやすい『やさしい日本語』に直してみましょう。 <ワークシート2>
- ・文化の異なる外国人と職場や地域で共に生きていくために必要なことは何か考えてみましょう。 <ワークシート1>
- ・外国人と地域住民が、互いに尊重し合い、共に暮らしていく社会にしていくために、あなたにできることは何でしょうか。本日の研修を踏まえて考えたことを書いてみましょう。 <ワークシート2>

2 SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) は、情報モラルを身に付け利用することにより、他者との相互理解を促すツールにもなりえることについて考える。

- ・P4『ここだけの話、外国人苦手。これ以上、増えて欲しくない』(のようなSNSの書き込み)について考えてみましょう。 <ワークシート1>
- ・SNSの利用について注意すべきことは何だと思いますか。 <ワークシート1>
- ・SNSを利用する際に、守るべきルールを具体的に考えてみましょう。 <ワークシート2>

学習活動		学習活動を支援するポイント	
1 開会 (3 分) ・学習のねらいと流れを知る		<始める前に> 学習活動 4 (意見の交換) をグループで行う場合は、参加者の着席状況を見て、席の移動をお願いする。 ○すべての学習のねらいを扱うことはできないので、参加者に特に必要と思われるものを選択する。	
2 ビデオの視聴 (36 分)		○学習活動 3 (ワークシートの記入) でどちらのワークシートの何番の問を使うかを決め、事前に 2 ページからの「主な場面と台詞・学習で扱うポイント」を使い、注意して視聴するポイントを学習者に伝える。	
3 ワークシートの記入		【ワークシート 1】	【ワークシート 2】
【ワークシート 1】 ・指定された問を記入する (5 分)	【ワークシート 2】 ・できるだけ具体的に記入する (10 分)	○ワークシートの問をすべて扱うことは時間的にできないので、ビデオの視聴の前に伝えたポイントに該当する問と、時間に余裕があれば扱いたい問を記入してもらう。	○実際に身の周りの生活を振り返って、具体的な事例について考える作業になるので、見せ合ったりせず、じっくりと考えて記入してもらう。
4 意見の交換		○グループでの話し合いの様子を見ながら、全体の前で意見を発表してもらうペアを選び、事前に発表者をお願いしておく。	○記入の際に、事前に発表者を数名お願いしておく。
5 まとめ (4 分)		○解説 (P12 - P15) を使って、SNS や外国人の人権についての基本的な説明や相談窓口等について説明する。	

3 ワークシート

■ ■ ■ ワークシート 1 (グループ) ■ ■ ■

サラーマット～あなたの言葉で～

※ビデオ視聴前に、研修講師（指導者）から、どの問いについて取り上げるかを聞きましょう。ワークシートの記入は、話し合いをスムーズに進めるためのメモと考え、お書きください。

1 外国人について

- (1) P2 ②「だけど、国が違えば、文化とか習慣の違いとか、いろんな壁があるでしょ」（珠美の発言）のように、外国人に対して感じる「壁」について具体的に例を挙げてみましょう。

- (2) P3 ③「これはないですよ。出稼ぎに来ているような人に、母を任せるなんて」（元喜の発言）について考えてみましょう。

- (3) 珠美の考え方が P2 ①から P7 ⑤のように変化したのはなぜか考えてみましょう。

2 SNS の利用法について

- (1) P4 ④『ここだけの話、外国人苦手。これ以上、増えて欲しくない』（のような SNS の書き込み）について考えてみましょう。

- (2) SNS の利用について注意すべきことは何だと思いますか。

3 地域で共に暮らす外国人との関わりについて

文化の異なる外国人と職場や地域で共に生きていくために必要なことは何か考えてみましょう。

■ ■ ■ ワークシート 2 (個人) ■ ■ ■

サラーマット～あなたの言葉で～

※外国人の人権や SNS の利用法について考えてみましょう。

- 1 地域で日本語以外の表記がある場所やものは何でしょう。

- 2 次の文章を外国人にもわかりやすい『やさしい日本語』に直してみましょう。
(参考) やさしい日本語とは、表現や文の構造を簡単にしたり、漢字にふりがなを振ったり、日本語に不慣れな人にもわかりやすくした日本語のこと。

今朝、8 時 30 分ごろ、兵庫県南部を震源に広い範囲で強い地震がありました。気象庁では、今後もしばらく余震が続くうえ、やや規模の大きな余震が起きるおそれもあるとして、地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物には近づかないようにするなど、余震に対して十分に注意してほしいと呼びかけています。



- 3 SNS を利用する際に、守るべきルールを具体的に考えてみましょう。

- 4 外国人と地域住民が、互いに尊重し合い、共に暮らしていく社会にしていけるために、あなたにできることは何でしょうか。本日の研修を踏まえて考えたことを書いてみましょう。

4 解説「SNS 時代における外国人の 人権について」

(1) 国や県の動向

ア 改正出入国管理法（平成 31 年）

○在留資格「特定技能 1 号」「特定技能 2 号」を創設し、一定の技能と日本語能力のある外国人に日本での就労を認める。

14 の業種で、1 号での受け入れ人数は 5 年間で最大 34 万 5150 人を想定する。資格取得の要件として技能試験、日本語試験がある。特定技能 2 号が認められると長期に渡り日本滞在が認められ、家族の帯同も許可される。そのため、これまで以上に日本で就労する外国人やその家族が増加することが考えられる。

特定技能1号及び2号の在留資格

特定産業分野(14分野)

介護、ビルクリーニング、素形材産業、産業機械製造業、電気・電子情報関連産業、建設、造船・船舶工業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食物品製造業、外食業

(特定技能2号は下線部の2分野のみ受入れ可)

	特定技能1号	特定技能2号
在留可能期間	5年	上限なし
家族帯同	不可	可
必要な技能	相当程度 ・特段の育成訓練を必要としない	熟練した技能 ・実務経験必要 ・監督者として成り立つ能力
日本語能力	日常会話	試験での確認不要

イ プロバイダ責任制限法（平成 13 年）

①発信者情報の開示

被害者は、被害者の権利が侵害されたことが明らかであって、損害賠償請求権の行使のために必要である場合、その他開示を受けるべき正当な理由がある場合、プロバイダに対し、掲示板や SNS などに書き込んだ人の氏名、メールアドレス、住所などの情報の開示を請求することができる。

②プロバイダの責任の制限など

プロバイダは、インターネット上で他人の権利が侵害されていることを知っていたとき、または他人の権利が侵害されていることを知ることができたと認めるに足る相当の理由があるときには、被害者に対して損害賠償責任を負うことがある。

ウ ひょうご多文化共生社会推進指針 （兵庫県 平成 28 年）

取組の基本的方向

- 多文化共生の意識づくり
- 多文化共生の人づくり
 - ・外国人児童生徒等への教育支援
 - ・多文化共生に取り組むリーダーの育成
 - ・日本人県民のグローバル人材の育成
- 暮らしやすい生活基盤づくり
 - ・多言語による情報提供
 - ・日本語及び日本の文化・習慣に関する学習支援
 - ・住居の確保と暮らしの情報提供
 - ・保健・医療・福祉の情報提供と支援
 - ・就業支援と就労環境の充実
 - ・防災への意識啓発と災害時の支援体制の整備
 - ・外国人県民に対する相談体制の整備
- 誰もが参加できる活力ある地域づくり
 - ・外国人県民の地域づくりへの参画
 - ・ビジネス人材、留学生等の受入れ

エ ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例 （兵庫県 平成 30 年）

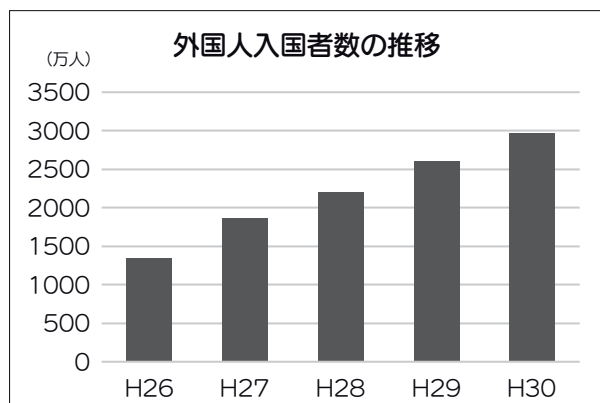
年齢、性別、障害の有無、言語、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができるユニバーサル社会の実現を目指す

- 地域社会の課題への対応
 - ・高齢者や女性の社会参加支援
 - ・障害のある人の自立と社会参加の支援
 - ・地域国際化、多文化共生の推進
- など、様々な変化と課題への対応

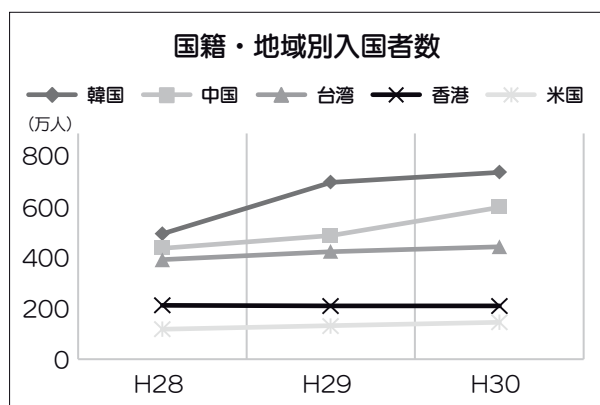
(2) 外国人等の状況

ア 出入国者数の近年の状況(法務省 H30 年末)

①平成 30 年における外国人入国者の数(再入国者数を含む。)は約 3,010 万人で、前年に比べ約 267 万人(約 9.7%)増加し、過去最高である。そのうち、再入国者を除いた新規入国者数は約 2,757 万人で、前年に比べ約 248 万人(約 9.9%)増加し、過去最高であった。

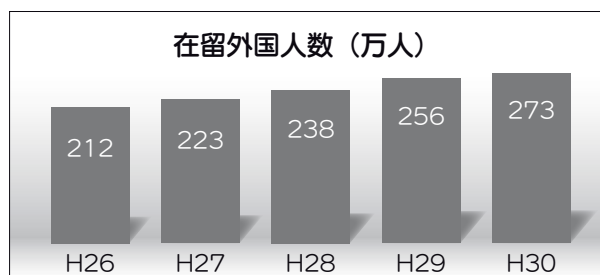


②国籍・地域別の新規入国者数は、韓国(732 万 5,595 人、対前年比約 5.5%増)が最も多く、次いで中国(595 万 2,742 人、同約 23.0%増)、台湾(440 万 7,523 人、同約 4.2%増)の順となっている。

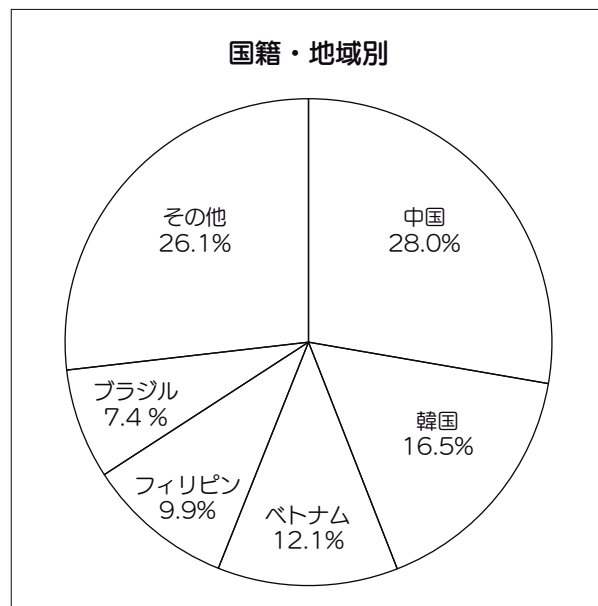


イ 在留外国人数(法務省 H30 年末)

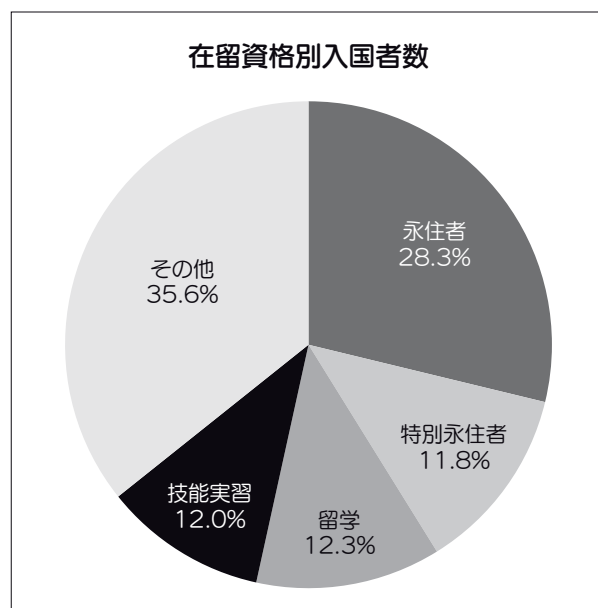
①在留外国人は、273 万 1,093 人である。



②国籍・地域別の在留外国人は、上位 10 か国・地域のうち、増加が顕著な国籍・地域としては、ベトナムが 33 万 8,351 人(対前年末比 6 万 8,430 人(26.1%)増)、ネパールが 8 万 8,951 人(同 8,913 人(11.1%)増)、インドネシアが 5 万 6,346 人(同 6,364 人(12.7%)増)となっています。



③在留資格別内訳は、永住者が 77 万 1,568 人(28.3%)で最も多く、次いで特別永住者 32 万 1,416 人(11.8%)、留学 33 万 7,000 人(12.3%)、技能実習 32 万 8,360 人(10.8%)の順である。



ウ 多文化共生事例集2017 ～共に拓く地域の未来～（総務省 平成29年）

外国人住民の多国籍化・高齢化など外国人を取り巻く状況も変化していることを受け、優良な取組の全国的な普及・展開のため作成された事例集です。

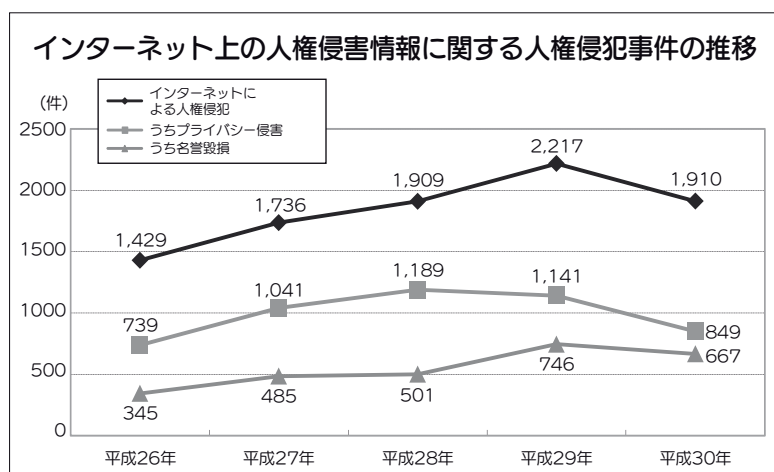


エ やさしい日本語（弘前大学）

「やさしい日本語」は、災害情報を「迅速に」「正確に」そして「簡潔に」外国人被災者に伝えるために提案されました。全国の地方自治体やNPOでは、「やさしい日本語」を応用した災害時の被害を最小限に食い止める減災のための取り組みを始めています。

(3) インターネット（SNS含む）の状況等

ア インターネット上の人権侵害（法務省 H30年）



平成30年インターネット上の人権侵害情報に関する人権侵犯事件は1,910件（対前年比13.8%減少）で、過去2番目の件数を記録した。なお、このうち、プライバシー侵害事案が849件（対前年比25.6%減少）、名誉毀損事案が667件（対前年比10.6%減少）となっており、この両事案で全体の79.4%を占めている。

イ SNSを利用して良かったこと・悪かったこと（H30 情報通信白書）

SNSで「良かったと思えたことがある（73.1%）」の内訳（%）	
新しい友人ができた	15.7
相談相手ができた	4.7
家族や友達との結びつきが深まった	16.2
しばらく連絡を取っていなかった人と再び連絡を取ることができるようになった	16.5
社会や経済等に関する最新のニュースや情報を得ることができた	26.4
趣味や身近な地域の話など、自分が興味のある情報を得ることが出来た	32.9
暇つぶしができた	30.9
その他	1.0

SNSで「何らかのトラブルにあった（23.2%）」の内訳（%）	
自分の発言が自分の意図とは異なる意味で他人に受け取られてしまった（誤解）	13.6
ネット上で他人と言ひ合いになったことがある（けんか）	7.2
自分は軽い冗談のつもりで書き込んだが、他人を傷つけてしまった	6.2
自分の意思とは関係なく、自分について（個人情報、写真など）他人に公開されてしまった（暴露）	4.8
自分は匿名のつもりで投稿したが、他人から自分の名前等を公開されてしまった（特定）	2.4
他人が自分になりすまして書き込みをした（なりすまし）	2.0
自分の書いた内容に対して複数の人から批判的な書き込みをされた（炎上）	1.6
自分のアカウントが乗っ取られた結果、入金や商品の購入を促す不審なメッセージを他人に送ってしまった	1.0
その他	0.8

ウ インターネット利用について気をつけたいこと

(参考『あなたは大丈夫?考えよう!インターネットと人権』(公財)人権教育啓発推進センター)

○ネット被害から自分を守る

- ・身に覚えのない請求には絶対料金を払わない
- ・知らない相手からのメールや件名・内容などがおかしい添付ファイルは開かない
- ・心当たりのないメッセージへ返信はしない
- ・むやみに実名で登録しない
- ・IDパスワードなどを他人に教えない。同じパスワードを複数のサービスで使用しない
- ・“無料”だからといって安易に登録しない
- ・怪しいサイトで買い物はしない

○ネットで相手を傷つけないために

- ・他人の悪口や差別的な内容は書き込まない
- ・根拠のないうわさ話は載せない
- ・出処不明の情報を安易に拡散しない
- ・使用する言葉に注意し、暴力的な言葉は使用しない
- ・知り合いの連絡先や住所などの個人情報や写真動画を無断で載せない
- ・他人の書き込みを‘あおる’書き込みをしない

○家庭でできるルール作り

- ・利用時間、場所、利用目的などを確認する
- ・相手への思いやり、配慮などを取り入れる
- ・身近な人権について意識する
- ・必要に応じ、ルールの見直しを行いながら、常に問題の共有ができるよう工夫する



エ SNS の利用に関する講習

兵庫県警察サイバー犯罪防犯センター

実事例に基づき、受講団体に合わせて講習をする。

【学生向け】モラルからSNS、セキュリティまで トラブル事例と被害や加害防止のヒント

【保護者、各種青少年団体向け】子どもを守るために知っておきたいこと被害実態、セキュリティ対策

【企業等向け】SNS による情報発信のリスク ウィルス感染・情報流出防止のための注意ポイント

(4) 外国人に関する相談機関について

○全国

・外国語人権相談ダイヤル (ナビダイヤル)

0570-090911

英語 中国語 韓国語 フィリピン語
ポルトガル語 ベトナム語に対応

・外国人のための人権相談所

全国の法務局・地方方法務局一覧

英語、中国語、韓国語他9か国語に対応

<http://www.moj.go.jp/MINJI/minji10.html>



・外国語インターネット人権相談受付窓口

英語版インターネット人権相談受付窓口

https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_AD/0101_en.html

中国語版インターネット人権相談受付窓口

https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_AD/0101_zh.htm

○兵庫県

・よりそいホットライン

(公益財団法人兵庫県国際交流協会 ひょうご多文化共生総合相談センター)

0120-279-338

10カ国語による電話相談



令和元年 12 月 発行

兵庫県健康福祉部社会福祉局人権推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL(078)362-9135 FAX(078)362-4266

公益財団法人兵庫県人権啓発協会

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号
TEL(078)242-5355 FAX(078)242-5360
URL <http://www.hyogo-jinken.or.jp>

複写＜転載＞について

人権啓発ビデオ活用ガイド及びパッケージ、チラシについて、複写＜転載＞される場合は、当協会に申請が必要となります。詳しくは当協会HP（<http://www.hyogo-jinken.or.jp>）をご覧ください。

